

# 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

## 事業名 障害福祉分野におけるロボット等導入事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 施設整備係 電話番号：058-272-1111 (内 2617)

E-mail: [c11226@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11226@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 10,500 千円 (前年度予算額：3,900 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,900	3,900	0	0	0	0	0	0	0
要求額	10,500	7,000	0	0	0	0	0	0	3,500
決定額	10,500	10,500	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- 障害福祉の現場におけるロボット技術の活用により、介護業務の負担軽減等を図り、労働環境の改善、生産性の向上を通じて安全・安心な障害福祉サービスの提供を推進する。

### (2) 事業内容

障がい者支援施設等が、介護負担軽減、労働環境の改善、生産性の向上等を図るためにロボット等を導入する費用について補助する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

国 2/3 県 1/3

### (4) 類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	10,500	障害福祉分野におけるロボット等導入に対する補助金
合計	10,500	

#### 決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

障がい者福祉 DXプロジェクト

#### (2) 国・他県の状況

国が実施する補助事業を活用して実施

#### (3) 後年度の財政負担

令和2年度と令和3年度はコロナ対策事業の位置づけであったが、令和4年度は一般予算としての計上となっており、今後も継続される見込み。

#### (4) 事業主体及びその妥当性

国要綱に基づき実施する事業である。

<支払根拠>

障害者総合支援事業費補助金交付要綱

障害福祉分野におけるロボット等導入支援事業実施要綱

岐阜県障害福祉分野におけるロボット等導入事業費補助金交付要綱

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 障害福祉の現場におけるロボット技術の活用により、介護業務の負担軽減等を図り、労働環境の改善、生産性の向上を通じて安全・安心な障害福祉サービスの提供を推進する。  
 R5年度までに対象154施設のうち10%への導入を目指す。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
① 補助施設数	0	10 (累計)	5	5	25 (累計)	40.0%
②						%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容と成果を記載してください。                      新型コロナウイルス感染症関連の補助事業として、事業者から導入予定の事業計画を募り、補助を実施。</li> </ul>
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	補助金の交付によりロボットの導入が進み、利用者の安全性・利便性が向上するため、本事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) 2	導入施設数の目標を大きく上回る実施ができています。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li> </ul>	
(評価) 1	応募のあった事業者すべてを拾えるよう、令和3年度募集時の数値を必要予算見込額とした。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 応募多数となった場合の予算確保。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 事業実施事業者から効果があるとの声が聞かれ、問い合わせも増えている事業であるため、国の補助制度が続く間は、継続して事業を実施する。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	【〇〇課】
--	-------